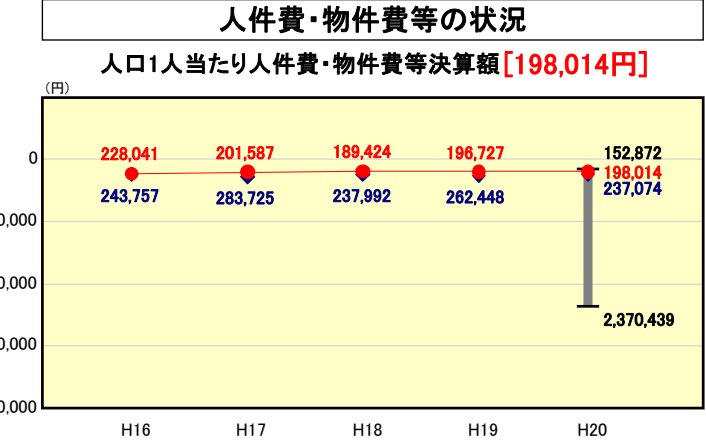
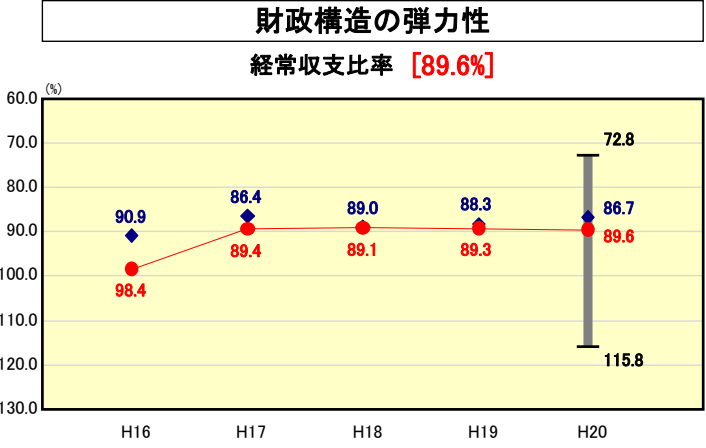
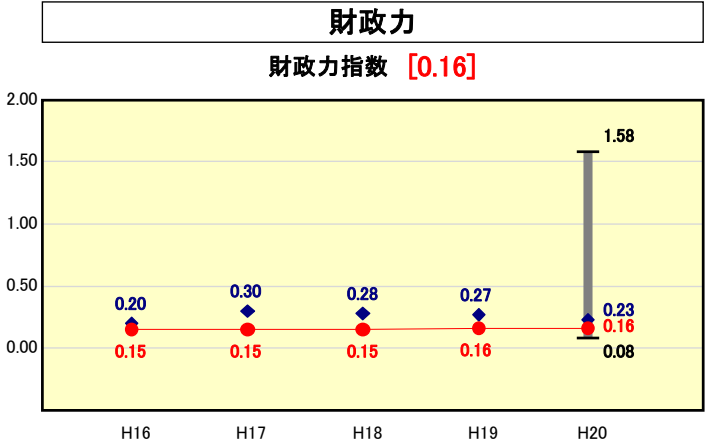


市町村財政比較分析表(平成20年度普通会計決算)



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし 人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

- 財政力指数**
前年度と同じ数値だが傾向としては徐々に低くなる予想。人口減少や高齢化率の上昇(20年度末39.0%)に加え、町内に大きな産業がないため財政基盤が弱く類似団体平均を下回っている。今後は引き続き第2次若桜町自立促進計画に基づく行政効率化を進める一方、産業の育成も推進し財政基盤の強化を図る。
- 経常収支比率**
前年度より0.3%増加。主な要因は、後期高齢者医療制度の開始と公営企業会計(公共下水道事業、農業集落排水事業)への繰出金の増加があげられる。今後は後期高齢者医療特別会計、介護保険事業特別会計、国民健康保険事業特別会計の運営状況にも左右されるが、町全会計の公債費は平成18年度をピークに減少へ転じており、数値は緩やかに減少する見込み。
- 人口1人当たり人件費・物件費等決算額**
人件費は4.9%減少し、物件費は1.1%減少したが、人口も3.0%減少しているため前年度より1,287円増加した。今後も人口減少により、人口1人当たりの金額は増加または横ばいで推移するものと見込む。

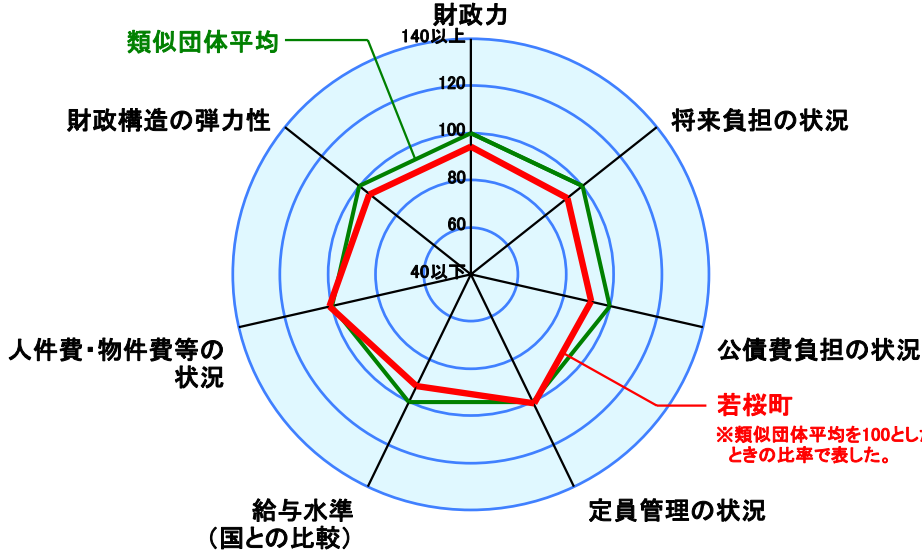
● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
T 類似団体内の最大値及び最小値

類似団体内順位 21/37
全国市町村平均 0.56
鳥取県市町村平均 0.39

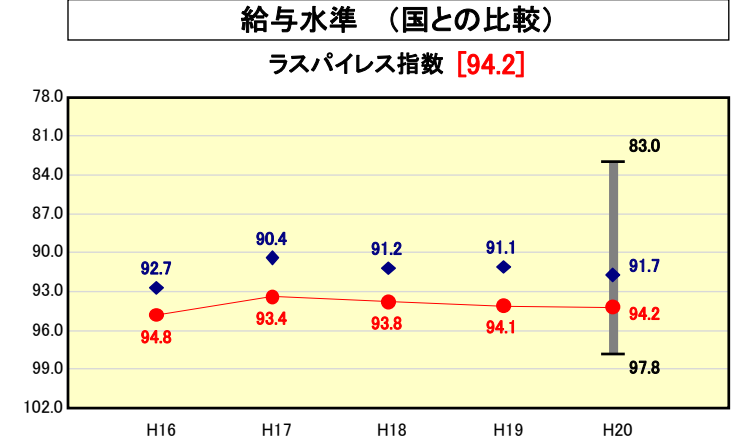
類似団体内順位 22/37
全国市町村平均 91.8
鳥取県市町村平均 89.4

類似団体内順位 9/37
全国市町村平均 114,142
鳥取県市町村平均 115,572

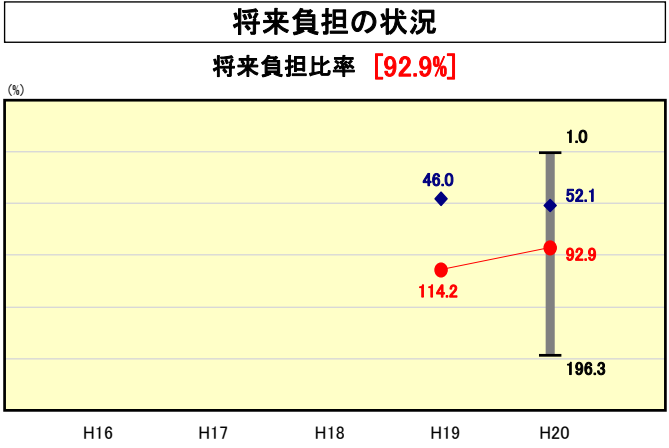
人口	4,214人(H21.3.31現在)
面積	199.31km ²
標準財政規模	2,163,038千円
歳入総額	3,126,053千円
歳出総額	3,046,301千円
実質収支	63,990千円



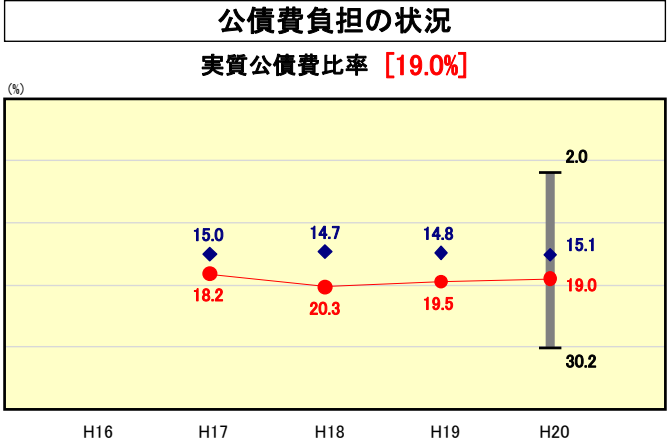
※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
※平成21年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



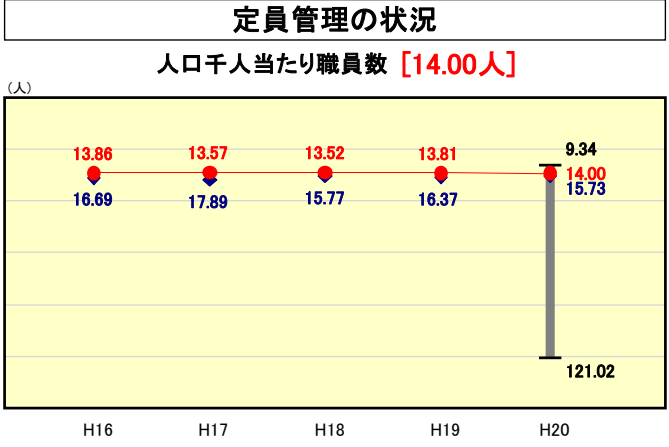
類似団体内順位 28/37
全国市平均 98.4
全国町村平均 94.6



類似団体内順位 19/37
全国市町村平均 100.9
鳥取県市町村平均 154.5



類似団体内順位 28/37
全国市町村平均 11.8
鳥取県市町村平均 18.9



類似団体内順位 10/37
全国市町村平均 7.46
鳥取県市町村平均 7.75

- 人口1,000人当たり職員数**
平成17年度から平成20年度まで職員採用を行っておらず、前年に引き続き類似団体平均を下回っている。今後は組織づくりによる行政サービスの質の向上を図るため、職員の採用を計画的に行い適切な定員管理に努める。